

(別紙2 - 1)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 24年 3月 3日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4271501019		
法人名	株式会社 ウエル		
事業所名	グループホーム 徳ちゃん		
所在地	〒857-0414 長崎県佐世保市小佐々町矢岳字田原 1062-3		
自己評価作成日	平成24年1月16日	評価結果市町受理日	平成24年3月19日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 URL	
--------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構
所在地	〒855-0801 長崎県島原市高島二丁目七二一七 島原商工会議所 1階
訪問調査日	平成24年2月27日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

海あり山ありの自然環境に恵まれた静かな環境です。
ご利用者様も近隣に馴染みの方が多く、打ち解けられ、楽しく笑顔で過ごされています。
ご利用者様の安全を確保し、その人らしく暮らしていただき、地域と密接に連携をとり、ホームが地域にとって欠かせない存在となるように努力したいと思っております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

家族や地域住民を交えてのイベント(企画)が、たくさん計画されている。入居者の方も家族や地域住民が頻繁に来られることにより、入居者の方が適度に刺激を受け、笑顔が絶えないホームである。外部評価で訪問した日の昼食は、職員から利用者の摂取量が普段よりかなり増えた、元気があるという声があり、日々の職員のケアの成果である。

また、施設全体は身体に優しい、アレルギーに配慮した「シックハウス症候群対策」が施され、災害に強い耐震構造となっている。

1 自己評価及び外部評価結果

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念をホーム各所に掲示し、職員等は常に確認している。ミーティングでは、理念を実践できているかどうかを話し合い、実践につなげるよう努力をしている。	「おだやかに その人らしく 生き生きと」を理念に、掲出による目視の意識付けや利用者の言動を受容し、楽しく過ごしていただけるよう心掛けている。個性に応じ、強制とならないように接し、共同生活を営んでもらう取組がされている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣への買物・散歩等、地域と馴染みの関係を保っている。地域の行事（春祭り）やホームでの行事（夏祭り等）の参加で交流をはかっている。	地区主催の敬老会に入居者の方が招待されたり、夏祭りやクリスマスをホームで大々的に開催しており、地域の方が多いときは150人、今は80人ほどが参加するなど、地域の方に受け入れられている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	民生員、社会福祉協議会と密に連絡を取り、要援護の方の把握をし、お互いの支援の方法を活かしている。近隣の方も家族や親類の認知症の相談にみえる事がある。	/	/
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者の現況報告や、ケアの問題点、困難なケースを検討し、解決方をみつけ、運営上やサービスの向上に活かしている。毎回、研究課題を揚げ、学んでいる。	運営推進会議の定着と充実した話し合いが行われている。また、消防団員や駐在所警察官にタイムリーなテーマの勉強会講師を依頼したり、ホーム職員も参加するなど活動的な取組がなされている。	
5	4	市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市役所、行政センターへ出向き、実情の報告や相談をしている。	市役所職員が毎月、運営推進会議に参加する等、協力関係が構築されている。また、入居者に生活保護を利用者される方がおられ、生活福祉課との情報交換も行われている。	

6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束は皆無であるが、マニュアルを作り、職員は理解している。</p> <p>玄関は施錠していない。(昼間)</p> <p>夜間は施錠している。</p>	<p>窓から外に出る入居者対応で別のユニットとの連携で拘束することもなく対応できている。スピーチロックが方言と共に発言されるが、ケース検討会で話し合い善処されている。なお、外部研修の出席があるものの、ほとんどの期間職員研修が行われていない。</p>	<p>長期間、身体拘束に関する研修が実施されていない。基礎的知識を習得する研修は欠かせないものであるので、1年に1回程度の計画的な全員を対象とした研修の実施が望まれる。</p>
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待の実施は皆無であるが、防止対策のマニュアルは学んでいる。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>社会福祉協議会より講義を受けたり、新聞等資料を用い、ミーティングで勉強し、活用できるよう職員は努力している。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時は重要事項の説明を十分にし、理解・納得をしていた。</p> <p>改定時は説明を十分にしよう努めている。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関にご意見箱を置き、ご家族の意見を聞くようにしている。(口頭で伝えられる事もある)</p> <p>外部者へ表せる機会は運営推進会議以外は少ない。</p>	<p>介護計画に基づきモニタリングが行われているが、家族からの意見や要望が聴取されていないのが現状である。</p>	
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>職員の意見は事務員を通して伝えている。</p>	<p>代表者とはなかなか会えないが、管理者は職員とよく話すことがあり、相談に乗っている。</p> <p>また、ユニット別に行われるミーティングも意見や提案を聴く機会となっている。</p>	

12	<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>職員の意見は事務員を通して伝えている。</p>		
13	<p>職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>H21.4より東北のグループホーム協議会（現在は佐世保市グループホーム協議会）に登録し、研修会へ4名程で参加している。介護福祉士、ケアマネージャー、ヘルパー2級の資格取得の支援を受けている。</p>		
14	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>佐世保市グループホーム協議会に登録し、研修に参加し、同業者との交流の機会ができた。近隣町の方に、相談し、指導を受け運営に役立っている。</p>		
<p>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p>				
15	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入所前より本人の悩みを聞き、身体状態、生活状態を把握し、不安を取り除き安心して入所される関係づくりに努めている。</p>		
16	<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>家族の困っていること、要望などに耳を傾け、何を希望されているかを把握し、信頼してもらえる関係づくり。</p>		
17	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人や家族の思い、何をホームに求められているのかを見極め、その方に合ったサービスをすすめるよう努めている。</p>		

18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>「利用者は人生の先輩である」と職員は認識している。生活歴を通して得てこられた人生訓を学び仲良く共同生活をするという関係を築いている。</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>職員は家族の思いに寄り添いながら本人を支えていく関係を築いている。日々の暮らしの出来事や気づきの情報、体調等随時伝えている。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>本人の友人、知人との関係を大事にし、その方達が気軽に遊びに来られる雰囲気をつくるよう努めている。(ホームへの訪問、行事への参加をお願いし、ドライブ、買物時には声かけをして頂いている)</p>	<p>入居者の友人知人へ年賀・暑中見舞いのはがきを出すため積極的に支援している。子供会で実施する「もぐら叩き」の厄除け神事など昔ながらの伝統と触れ合う取組がされている。</p>	
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者間の関係を把握する。食堂の席やドライブ等の座席も配慮している。意見が合わない方達がいたわりあった関係を持たれるよう支援している。</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>退居された方の入院先へお見舞いに行ったりと関係を続けるようにしている。家族の相談があれば他のサービスの紹介するなど支援している。</p>		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>一人ひとりの言葉や表情、行動から希望や意向を察知している。</p>	<p>日常支援の中で、注視し、個別記録へ「気づき、問題や要望」を朱書きし、ケース検討会で話し合っている。一日の短い時間でも表情で判る入居者もいるがその時は入居者の意向に沿って対応している。</p>	

24	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>一人ひとりの生活歴を知り、家族・友人・知人より、以前の暮らしを聞いている。前に利用されていたサービス機関（社会福祉協議会）より情報を受ける事もある。</p>		
25	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>今までの生活歴や、ライフスタイルに応じて一人ひとりにあった1日の過ごし方を支援する。その日その日の精神状態や、能力も考慮している。</p>		
26	10 <p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>家族に希望を聞き計画を立てている(週1回の家族の面会時や家族会で意見を聞いている)</p> <p>職員は毎日のミーティング、月1回のミーティング等で意見を出し合い計画を立てている。担当の看護師に尋ねる事もある。</p>	<p>モニタリングや介護計画書の評価は実施されているが、断片的となっていて全員で作成した介護計画とは言い難い面がある。</p>	<p>入居者の担当制を採り入れ、介護計画のモニタリングを担当者が行い、ケアマネージャーは担当者と共に介護計画評価を実施する等、全員でのケア検討会を経て、新たな介護計画の作成が望まれる。</p>
27	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別の記録をし、一人ひとりに合ったサービスが出来るよう努力している。職員間で情報を共有しながら実践し、見直しをしている。</p>		
28	<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々に見えるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>以前は体験入所や家族の宿泊も受け入れていたが、現在休止状態である。</p>		
29	<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>2ヶ月に1回、運営推進会議を開催し、行政、社会福祉協議会、民生委員、町内会長、家族会等参加して頂き意見交換する機会を設けている。</p>		

30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人、家族の希望でかかりつけ医を決められ、受診されている。連携医療機関の病院に通院されている方でも、近隣の医院の医師は風邪等で受診を希望すると、気持ちよく受け入れてくださる。相談にものって下さる。</p>	<p>入居者は入居前のかかりつけ医が継続されている。受診については、1時間以上の時間を要するため、家族の協力が必要となっている。ホームでは家族の負担軽減のため介護タクシー利用等について模索している状況である。</p>	
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護職員を配置しており、常に入居者の健康状態を变化に応じた支援を行えるようにしている。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院状況を把握するため、家族や病院との連絡を密にし、情報交換を行っている。また、今後の治療について病院より詳しく説明を受け、速やかな退院支援に心がけている。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>家族と話し合い、入居者が安心して終末期を過ごしていけるよう取り組んでいる。急変時にはすぐに家族や主治医に報告し対応している。</p>	<p>看取りマニュアルが作成されており、救急搬送で病院対応となっている。また、看取りを行うにも訪問看護や医者の往診が難しい立地条件であることもあり、家族の方にも病院での対応を望む方がいるのが現状である。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>定期的に応急手当や初期対応の実践練習を行い、急変時に備えている。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署や地域の消防団の避難訓練を定期的に行っている。万が一、火災があった場合は近隣の方にも連絡し、協力してもらえ体制をとっている。</p>	<p>消防署へ要請し研修会を実施し、地域住民も参加する等防災意識が高い。また、隣の個人住宅が非常通報先になるなど協力的であり、消防団員が近所に居住していて協力申し入れもある。現在、1日分の備蓄は準備している。</p>	

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格を尊重し、言葉かけをしている。 プライバシーを損ねない対応が出来るように努めている。	失禁等他の入居者が気づかないようプライバシーに配慮した声掛けを行っている。また、入浴の際、体を覆う為にタオルを掛けるようにしている。
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一人ひとりと日々よく話して、言葉や表情・行動から、何をどうしたいかを把握するよう努めている。 レクリエーション等、本人が決める場面をつくっている。	
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	身体的な1日の流れはあるが、一人ひとりの状態や思いを配慮しながら、ドライブ・散歩・レクリエーション等柔軟に対応している。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎日、自分好みの衣服を着衣されている。寒暖にそぐわない服等は助言している。床頭台や各所に鏡があり、常に自分の姿を映されている。理容は職員が希望を聞き似合いの髪形にしている。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	各自の好き嫌いを把握し、出来る限り好みの食事を提供するよう努めている。 食材の買出しに一緒に行き、調理を手伝われる方もある。 食事の時間は楽しそつである。	鮮魚を特定の魚屋から仕入れるなど、鮮度に拘るため、献立表も2~3日先までしか決めないこだわりである。入居者の皆さん全員が魚が好きであり食卓には刺身が良く出ることもある。また、入居者の方も準備・後片付けと分担してできることをしておられた。
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの栄養摂取量や水分量を把握している。 1日5回水分補給をし、食事量・残菜量を記録し、利用者の栄養改善につなげている。	

42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎朝の洗面時、昼食時、夕食後に口腔ケアを実施している。義歯は就寝時ポリデントにつけている。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>個人ライフチャートを記入し、排泄パターンを把握している。排泄の時間を見計らって誘導をし、オムツの使用を減らしている。</p>	<p>ユニット全体で布パンツ12名リハビリパンツ6名である。リハビリパンツの方にはトイレ誘導を行っているが、就寝時等トイレを拒否され交換や清拭に至る場合もあるが、誘導のタイミングをずらす等工夫を行っている。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>水分摂取も注意している。散歩・清掃等、体を動かす機会を多くし、薬に頼らず自然排便ができるよう努力している。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>一人ひとりの希望や状態に応じて入浴を施行している。回数・時間等は出来るだけ調整するようにしている。入浴を楽しまれている。</p>	<p>週2回ユニットごと交互に曜日を決め入浴を提供している。ユニットごとに浴槽を張ると、浄化槽がオーバーフローして川に汚物が流れ、一時、住民との間で問題になったことがある。</p>	<p>週2回ユニットごと交互に曜日を決めても、入居者は週4回入浴できるため、ユニット間の相互利用を検討され、入居者の入浴回数を増やすことが望ましい。</p>
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>一人ひとりの生活パターンや、睡眠パターンを把握して休息や睡眠が出来るよう配慮している。日中、ドライブ、散歩などで体を動かすよう支援している。</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>一人ひとりの病気や薬の目的、副作用を理解し、主治医の指示によって服薬支援をしている。服薬チェック表を作成し、異常がある時は主治医に相談している。</p>		

48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>野菜切り・魚作り等、得意の分野で力を発揮できるよう支援している。</p> <p>梅干し、らっきょう漬けもされる。</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>買物・ドライブ・行事等、利用者の体調や希望を聞き、外出の支援をしている。ドライブ等は家族支援を受けている。</p>	<p>年末年始の帰宅支援を行っている。四季ごとの風物を見に行くため、家族の協力も得ながら、年間計画が立てられている。また、毎日の買い物・ドライブは天候と入居者の体調等が合えば外出の支援を行っている。</p>	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金を持つという事は、利用者にとって楽しみであり、安心でもある。</p> <p>家族は少額のお金を渡されている。</p> <p>ドライブ・行事等、財布より支払って買物をされ、生き生きとされている。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>家族と電話で話される事もある。</p> <p>家族・知人からの贈り物の御礼等、利用者の方も電話で話される。</p> <p>年賀状・暑中見舞いを手作りハガキで出されている。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室、居間には遮光カーテンをとりつけ、明るく柔らかな室内になっている。</p> <p>寒暖はエアコンで調整している。</p> <p>料理、行事等で季節感をだしている。</p>	<p>ホームの周りには高い建物や立木もなく自然光がカーテンを抜けて入ってくる。大き目のソファは入居者の方が身体を預けるのに十分な大きさ柔らかさを兼ね備えている。セントラル換気システムの稼働もあり、気温・湿度計の針は薄緑の「快適」を指している。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>玄関、サンルーム、居間、中庭に椅子やテーブルを置いて、思い思いに過ごせる空間がある。</p> <p>利用者同士でゆったりと過ごされている。</p>		

54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は、自宅で使用されていた馴染みのタンスや寝具、テレビ等置いている。家族の写真や手作りカレンダーを飾り、落ち着いた居室作りを配慮している。	入居者の居室は使い慣れた調度品をたくさん入れている人、少ない人、様々であるが壁は写真や装飾を施したもので飾られている。居室の入口には、入居者の方の「干支」の塗り絵と名前を書いたものが飾ってあった。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホーム内外にスロープ・手すりを設置し、バリアフリーの作りになっている。洗濯物干しの高さや庭にでる通路も安全に留意している。各自の居室のドアは大きな名札と生まれ年の干支の絵を貼り、混視を防いでいる。		

アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と
		2, 家族の2/3くらいと
		3, 家族の1/3くらいと
		4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
		2, 数日に1回程度ある
		3, たまに
		4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
		2, 少しずつ増えている
		3, あまり増えていない
		4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
		2, 職員の2/3くらいが
		3, 職員の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
		2, 家族等の2/3くらいが
		3, 家族等の1/3くらいが
		4, ほとんどいない